

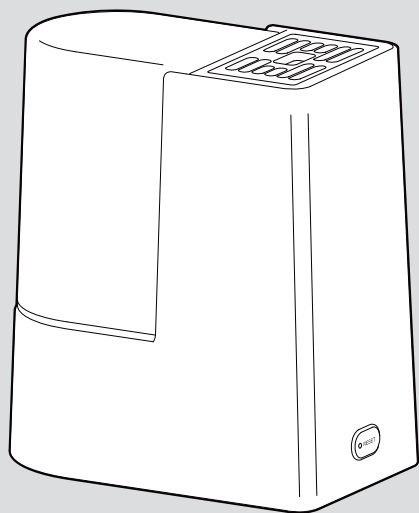
THREEUP

スチーム加湿器

「ピュアスチームS」

ST-T2520

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1~3
パッケージ内容	3
仕様	3
各部のなまえ	4

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと	5
設置について	5
水タンクに水を入れる	6

ご使用方法

運転する	7
停止する	7
水タンクの水がなくなると	8
アロマトレイを使用する	9

点検・サービス

お手入れと保管方法	10~12
コンセントの点検	13
故障かな?と思ったら	14
保証・サービス	裏表紙

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

	この図記号は「禁止」されている内容です。		この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、けがの原因になります。
分解や修理をしないでください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体を水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様や取り扱いに不慣れな方、ご自分で体温調節のできない方だけで使ったり、触れさせたりしないでください。
感電やけが、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショート、発火の原因になります。

吹出口やスチームダクトから給水しないでください。
故障や感電、水漏れの原因になります。

スチームを故意に吸入しないでください。
健康を害する原因になります。



禁止

吹出口や吸気口、すき間にピンや針金などの異物を入れたり、ふさいだりしないでください。

- けがや事故の原因になります。
- 過熱による本体の変形、発火の原因になります。

引火性の物(殺虫剤、ヘアスプレー、ガンリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源を使用してください。

異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

電源コード、電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 乱暴に扱ったり、重い物をのせたり、機器に挟み込んだり、損傷した物は使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

警告



必ず守る

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音が生ずる。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



接触禁止

運転中または運転停止直後は、次の箇所は高温になっていますので、冷めるまで触らないでください。

やけどの原因になります。

- スチームや吹出口の周囲
- 給水カバーやスチームダクト
- ヒーター部の周囲
- 水タンクと本体（水そう部）の水

吹出口カバーやスチームダクト、給水カバーを取り外したまま運転しないでください。

やけどの原因になります。

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。

家具や壁、カーテンにスチームが直接当たる場所には設置しないでください。

シミや汚れの原因になります。

テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

結露による故障や雑音が入る原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

水平で安定している場所に設置してください。斜面など不安定な場所に設置すると、転倒により水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

また、高所から落下すると、けがや破損の原因になります。

水タンクと本体（水そう部）の水が凍結するような場所では使用しないでください。

故障の原因になります。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。

転倒、破損によるけがや事故の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

湿度の高い場所（75%以上）では使用しないでください。

家具や壁を湿らせ、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。



禁止

運転中は移動させたり、傾けたりしないでください。

水漏れや故障の原因になります。

移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

吹出口をふさがないでください。

過熱による本体の変形、故障の原因になります。

常温の水道水以外は使用しないでください。

- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 40℃以上のお湯や、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイル、エッセンシャルオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

水タンクと本体（水そう部）に水を入れずに空焚きはしないでください。

火災、故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤、クエン酸溶液以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

アロマオイルを水タンクや吹出口に入れないでください。

破損や故障の原因になります。



禁止

⚠ 注意



必ず守る

水を捨てるときは、必ず内容器の矢印刻印を下に向けて捨ててください。

電源スイッチやリセットボタン、電源コード出口から内部に水が入ると、故障の原因になります。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」にしたがってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。



必ず守る

長時間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、内容器に残った水を捨ててください。

- 水タンクと本体（水そう部）に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 水タンクと本体（水そう部）に水が入ったままでは保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1

仕様

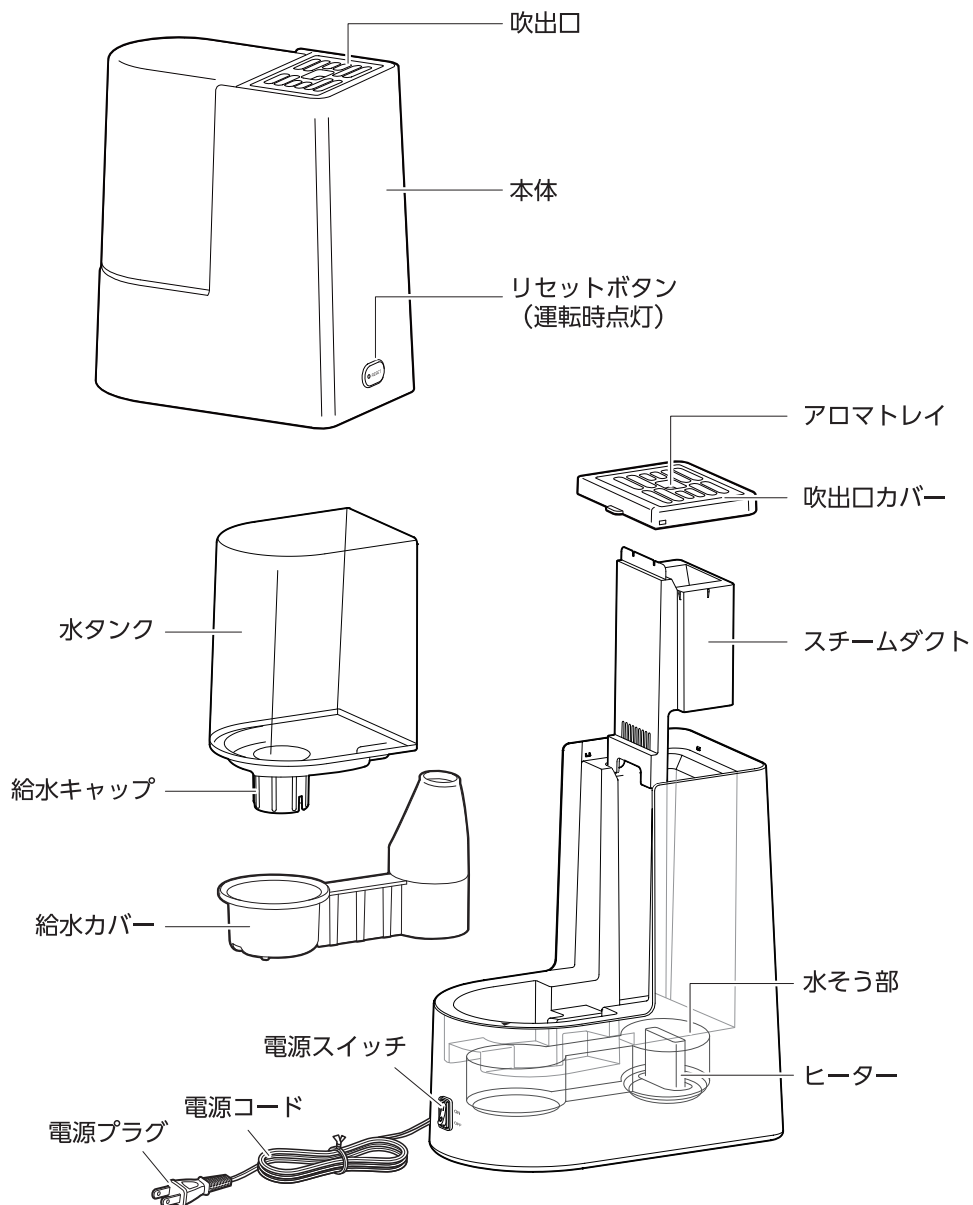
本体サイズ	幅23×奥行12.5×高さ25cm	本体重量	約1.0kg
材質	PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	140W	タンク容量	約1.5L
加湿量	150mL/h	連続運転時間	約8.5時間
加湿方式	スチーム式	コード長	約1.5 m
安全装置	空焚き防止機能、温度ヒューズ	—	—

※ 製品は改良のため、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 適用床面積（目安）は使用環境により異なります。

各部のなまえ

■ 本体



ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

■ 加湿について

本体(水そう部)のヒーターで水を沸騰させて発生したスチームで加湿します。スチームおよび吹出口の周囲や、ヒーター部周囲および水は高温になっていますので、絶対に触らないでください。

■ 水漏れについて

床に本体や水タンクを落下させた場合に亀裂が入り、水漏れを起こす場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

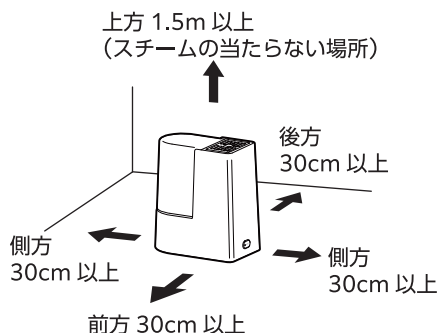
ヒーター部周囲の汚れ(スケール、水あか)について

水道水を加熱してスチームを発生させるときにスケール(蒸発残留物:カルシウムなど)や水あかが発生します。水あかは茶褐色、白い斑点、白くざらざらしたものです。汚れは使用に伴い固着していきます。放置すると加湿機能の低下や故障の原因になりますので、必ず定期的にお手入れをしてください。

設置について

■ 設置条件

- 製品の周囲は右図で示した距離を空けてください。
- 斜面や毛足の長い敷物の上など、不安定な場所には設置しないでください。



■ 安全装置

本体(水そう部)の水がなくなると空焚き防止機能が作動し、自動的に運転が停止するようになっています。少し時間をおいて温度が下がれば、リセットボタンを押すことで運転を再開できます。万が一、空焚き防止機能が作動せずに異常な温度上昇が発生した場合は、温度ヒューズが作動して回路を遮断します。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

水タンクに水を入れる

⚠ 警告



必ず守る

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
水タンクに水を入れる際は、電源プラグに水がかからないように注意してください。
感電するおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

- 必ず水道水を入れてください。
一般に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。
- 水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換え、常に清潔に保ち、定期的にお手入れしてください。
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。



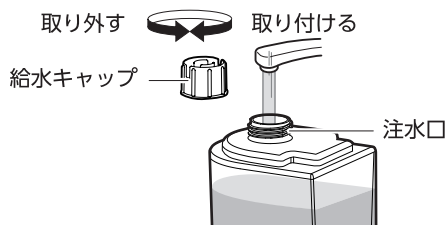
禁止

次のような水は水タンクに入れないでください。

- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 40℃以上のお湯や、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイル、エッセンシャルオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

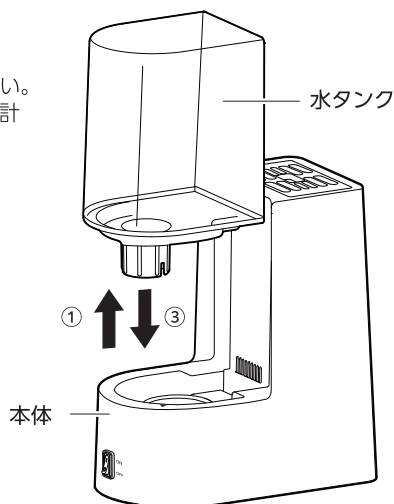
■ 水の入れかた

- ① 水タンクを本体から取り外します。
- ② 水タンクに常温の水道水を入れます。
 - 給水キャップを反時計回りに回して取り外してください。
注水口から水道水を入れたあと、給水キャップを時計回りにしっかりと回して取り付けてください。
 - 洗面所や浴室などで給水してください。



- ③ 水タンクを本体に取り付けます。

注意 本体(水そう部)に水が残っている場合は、必ず本体(水そう部)の水を捨ててから水タンクを取り付けてください。
水の捨て方については、「お手入れと保管方法」(P.10)の項目をご確認ください。

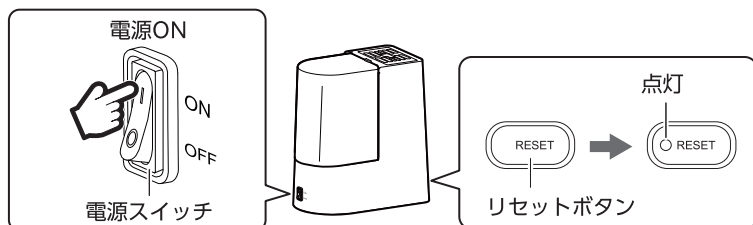
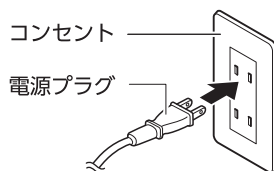


ご使用方法

運転する

■ 運転のはじめかた

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ② 電源スイッチを「I」方向へ押すと、リセットボタンのランプが白く点灯して加熱を開始します。
沸騰近くになると加湿を開始し、
約2～5分後に高温のスチームが出始めます。

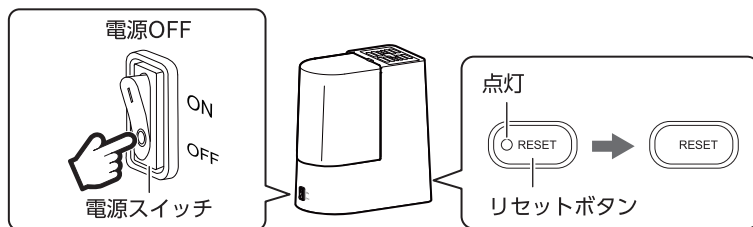


- ×モ
- ・スチームが出始めるまでの所要時間は使用環境や水温、水の量により異なります。
 - ・スチームは部屋の温度や湿度によって見えにくい場合があります。
 - ・運転中は本体の外側が少し温かくなりますが、異常や故障ではありません。
 - ・電源スイッチを「I」方向へ押しても、リセットボタンのランプが点灯しない場合は、リセットボタンを押し込んでください。

停止する

■ 運転の止めかた

- ① 運転中に電源スイッチを「O」方向へ押します。
- ② リセットボタンのランプが消灯して加熱を停止します。
運転停止後は余熱によりしばらくスチームが出ます。



⚠ 注意

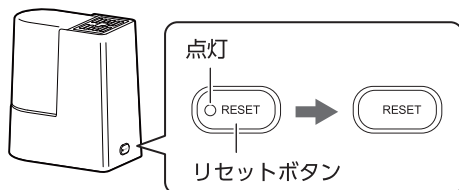


必ず守る

- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、水タンクと本体（水そう部）の水を捨ててください。
- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に電源スイッチを「O」方向へ押して運転を停止してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

水タンクの水がなくなると

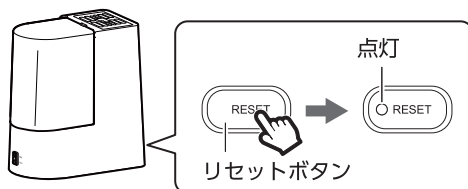
運転中に本体（水そう部）の水がなくなると、リセットボタンのランプが消灯して自動的に加熱を停止します。



- メモ** 水がなくなると、「パチパチ」と聞こえますが、水そう部のヒーターの水が蒸発する音です。故障ではありません。

■引き続きご使用になる場合

- 電源プラグをコンセントから抜いて、水タンクに給水してください。
- 給水した水タンクを本体にセットしてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- リセットボタンを押して、リセットボタンのランプが白く点灯すると運転を再開します。



- メモ**
- リセットボタンは、カチッと音が鳴るまで確実に押し込んでください。
 - 内部の温度が下がっていない場合は、リセットボタンを押してもランプが点灯せず加熱が開始されません。少し時間をおいてから再度リセットボタンを押してください。

⚠ 警告

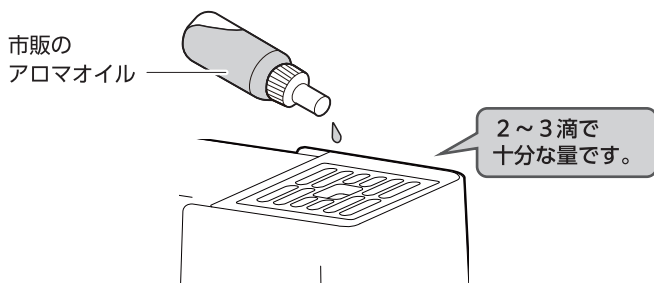


必ず守る

給水時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やけがの原因になります。

アロマトレイを使用する

アロマトレイに市販のアロマオイルを2～3滴垂らします。



⚠ 注意



必ず守る

- アロマオイルを滴下するときは、必ず電源を切り、吹出口の温度が下がってからおこなってください。
- 水タンクや本体にアロマオイルを入れないでください。
- アロマオイルが本体や水タンクなどに付着しないように注意してください。
変形、故障による水漏れなどの原因になります。
- アロマオイルがアロマトレイからあふれないように注意してください。
- 水滴が入るなどしてあふれそうになったときは、すぐにアロマオイルを捨ててください。
- アロマオイルに記載されている使用上の注意事項を守ってください。

お手入れと保管方法

⚠ 警告



- お手入れや点検、保管の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やけがの原因になります。
- お手入れや点検、保管の際は、本体が十分に冷めてからおこなってください。
やけどの原因になります。

⚠ 注意



長期間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体(水そう部)に残った水を捨ててください。

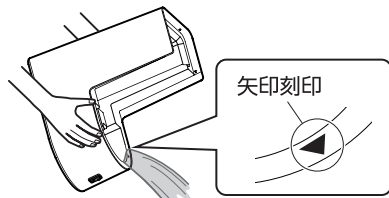
- 本体(水そう部)に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 水タンクと本体(水そう部)に水が入ったまま保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

各部のお手入れは1週間に2回以上おこなってください。

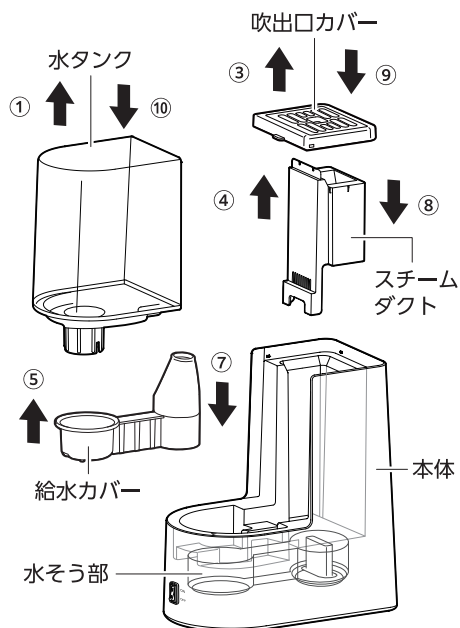
■ 水の捨てかた

- ① 本体から水タンクを取り外します。
- ② 水タンクに残った水を捨てます。
- ③ 吹出口カバーを取り外します。
- ④ 本体からスチームダクトを取り外します。
- ⑤ 本体から給水カバーを取り外します。
- ⑥ 本体(水そう部)に残った水を捨てます。

注意 水を捨てる際は、矢印刻印を下に向けて捨ててください。



- ⑦ 給水カバーを本体に取り付けます。
- ⑧ スチームダクトを本体に取り付けます。
- ⑨ 吹出口カバーを本体に取り付けます。
- ⑩ 水タンクを本体に取り付けます。



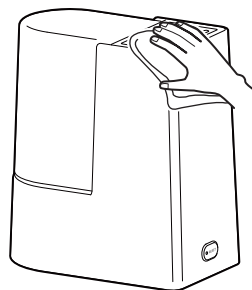
■ 本体のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてお手入れしてください。

汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかい布で汚れを拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった柔らかい布で拭き取ってください。

仕上げに柔らかい布で乾拭きしてください。

- お手入れには塩素系・アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- お手入れのあとは水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。

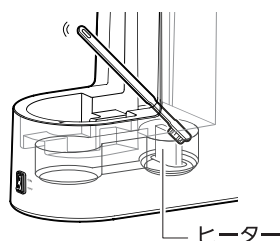


● 本体(水そう部)のお手入れ

歯ブラシなどの柔らかいものでこすって汚れを落としてください。

- 金属製のブラシなどでこすると、傷が付き、故障の原因となりますので、使用しないでください。
- ヒーター部のお手入れ時は給水カバーを取り外してください。
- ヒーター部の汚れを取り除く際は、衝撃を与えないよう丁寧に取り除いてください。

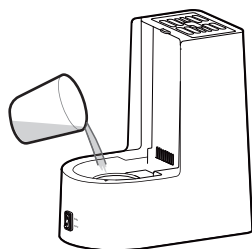
注意 運転停止直後はヒーター部が高温になっているため、冷めるまで直接触れないでください。



◎ ヒーター部の汚れがひどい場合は、クエン酸溶液を使用してお手入れをしてください。

クエン酸溶液を使用したお手入れのしかた

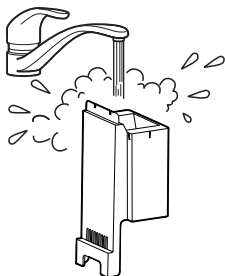
- ① 水タンクを本体から取り外します。
- ② 200ccのぬるま湯に2gのクエン酸を溶かします。
- ③ ②で作ったクエン酸溶液を本体に入れます。
- ④ 約2時間放置します。
- ⑤ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ⑥ 電源スイッチを「I」方向へ押し、本体(水そう部)のクエン酸溶液が無くなるまで運転します。
- ⑦ 電源スイッチを「O」方向へ押し、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ⑧ 通常のお手入れをします。



■ 給水カバー、スチームダクト、吹出口カバーのお手入れ

水洗いをしたあと、軽く振ってよく水をきり、乾燥させてください。

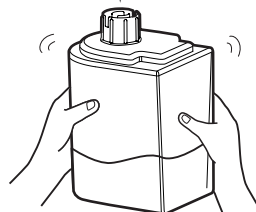
汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかい布で汚れを拭き、洗剤が残らないように水で洗い流したあと、軽く振ってよく水をきり、乾燥させてください。



■ 水タンクのお手入れ

- 外側は本体外側の同様のお手入れをしてください。
- 内側は水タンクに少量の水を入れて軽く振り洗いし、排水します。
汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。
洗剤が残らないよう、しっかりすすいでください。
- 給水キャップも軽く水洗いしてください。

振り洗い中は
給水キャップを
確実に締め付ける



■ 保管方法

- 水タンクと本体（水そう部）の水は必ず捨ててください。
- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。
湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭、故障の原因となります。
- お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。

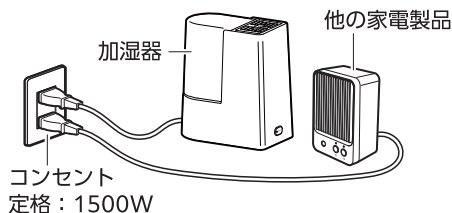
コンセントの点検

●コンセントなどの配線器具には寿命があります。

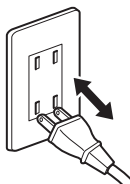
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

誤った使いかたの例

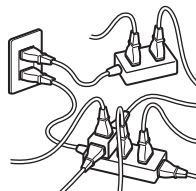
✕ 定格容量いっぱいで使用する



✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする



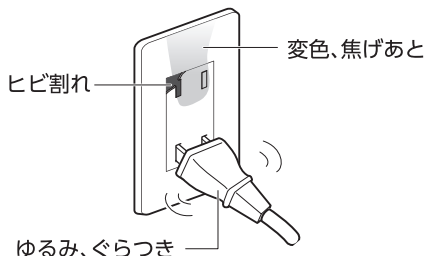
✕ タコ足配線する



●下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- 電源プラグの抜き差しがゆるい。
- 電源プラグやコンセントが触れられないほど熱い。
- 表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- 表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



⚠ 注意



破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。
焼損や火災、事故の原因になります。

長年ご使用の製品はよく点検をおこなってください。

●このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが触れられないほど熱い。
(別のコンセントに差し直しても熱い)
- 電源コードや電源プラグが破損した。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

故障かな?と思ったら

スリーアップカスタマーサポートにご連絡いただく前に、
下記項目の確認をお願いいたします。

症 状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグが外れているか、斜めになって正しく接続できていない。	電源プラグの接続を確認してください。
スチームが出ない	- 運転開始直後である。 - ヒーター部が白く汚れている。 - リセットボタンが押されていない。	- ヒーター部で水を沸騰させてスチームが発生するまで、約2～5分かかります。 ※使用環境により所要時間は異なります。 「お手入れと保管方法」にしたがって、定期的にお手入れをしてください。 - リセットボタンをカチッとなるまで確実に押し込んで、リセットボタンのランプが白く点灯することを確認してください。
運転が停止した	水タンクの水がなくなった。	水タンクに給水してください。 給水後は温度が下がるまで少し時間をおいてから、リセットボタンを押し込むと、リセットボタンのランプが白く点灯し運転が再開します。
異臭がする	- 水タンクや本体(水そう部)が汚れている。 - 水が古くなっている	- 定期的にお手入れをしてください。 - 水タンクや本体(水そう部)に残っている水を捨てて、お手入れをしてください。
湿度が上がらない	- 適用床面積を超えた部屋で使用している。 - 部屋の窓やドアが開いている。	- 適用床面積内でご使用ください。 - 窓やドアを閉めてお使いください。
ヒーター部の周囲に汚れが付着する	スケールや水あか(茶褐色、白い斑点、白くざらざらしたもの)が付着している。	定期的にお手入れをしてください。 汚れがひどい場合は、クエン酸溶液を使用してお手入れをしてください。
スチームが見えない	湿度や温度、背景により見えにくくなっている。	スチームを確認される場合は、背景を黒っぽくしていただくと比較の見えやすくなります。
電源が落ちる	ヒーター部に白くざらざらしたものが付着している。	ヒーター部に水あかが固着しています。固着した状態で動作していると電源が落ちることがあります。お手入れして水あかを除去してください。

※ 上記の点検をおこなっても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 弊社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。